

事務の自己点検・評価の実施について

1. 趣旨

法人化の趣旨に沿った質の高い事務サービスを提供するため、事務処理方法や体制等について自己点検・評価を行い、さらに外部評価を通じて具体的な検討課題を抽出することにより、より効率的・効果的な事務処理方法・事務処理能力の開発とともに、業務の統廃合や組織の見直しによる合理化、省力化、ニーズの高い分野への人的資源の再配置など、事務の抜本的な改善策の策定に資する。

なお、自己点検・評価及び外部評価は、大学評価室に「事務点検・評価実施作業部会」を設置して組織的に実施するものとする。上記点検評価結果を踏まえた事務局全体の具体的改革については、別途検討する。

2. 実施方法

(1) 対象期間

平成16年度の実績

(2) 自己点検・評価の手順

個別業務の点検・評価

課・室全体の業務運営状況に係る点検・評価

事務局全体として問題点・改善点等のまとめ

(3) 自己点検・評価の視点

中期目標・中期計画、本学の理念、将来構想(第1次報告)における事務の役割等を踏まえつつ、次の視点から自己点検・評価を行う。

個別業務の点検・評価

業務の目的・目標に対する達成度、効率性、有効性、経済性等について、適切な指標を設定して定量的に点検・評価を行う。

課・室全体の業務運営状況に係る点検・評価

上記個別業務の点検・評価を基に、課・室が組織として有効に機能し、活動しているかどうかの観点から、課・室の運営状況・体制等の点検評価を行う。

事務局全体として問題点・改善点等のまとめ

、を踏まえ、事務局全体を通じて効率的・効果的に運営されているかどうかの観点から、問題点・改善点等のまとめを行う。

3. 作業部会の構成

- ・大学評価室室員(教員)及び教育研究評議会評議員 若干名
- ・事務職員 若干名